

各論

1、老研からの自立（韃 13 年 5 月）

- 韃 13 年 3 月～4 月に向けて話し合い活発化 会員で先生を探す検討。
各 3 クラスで指導者を見つけパソコンの勉強は続く。会則作成 会員名簿の作成 役割分担
学校との利用規則（学校を利用する人の名簿提出、保険の問題）
- 5 月 新しい先生の元順調に・・・各サークルからの運営委員を出す。会の検討に入る
5 月末以前のファシリテーターが来られ「元気にまとまり、しっかりやっている姿に
ビックリ・・・3、4 月の話し合いで、先々どうなるか心配だった。」と話される。
皆さんもパソコンが楽しい・・・と話す。この間もサポーター 3～5 人来ている。
- 6 月 老研、学校、保健所、我が会の四者で、保健所の働きかけで、学校施設の無料での使用
が決まる。
- 7 月 「元気！ながさきの会」を立ち上げたい。運営委員選出 会則検討 活動方針
学校側より、「以前生徒にパソコンのサポーターをしたのを豊島区全体に広げてほし
い。」といわれる。
- 8 月 9 月 2 日 「元気！ながさきの会」の発足決まる。保健所 区長出席決まる。
- 9 月 9 月 2 日（日）会の発会式 高野区長出席の元、 全員一致で会則決まる

2、長小のパソコン教室の使用禁止（韃 14 年 12 月）

本年までといわれていた使用が急に早まる。保健所の協力により区民集会室が無料で
許可。但しパソコンを置く事はダメ。10分～15分かかり12月の寒さの中ノート
PCを背負っての参加。厳冬期、 遠く厳しいパソコン教室。
パソコン教室の2クラスは解散しても・・・1クラスは継続とゆれる・
でも何とか・・・と一番揺れ動いた時。遠い道のりも皆さんと楽しく語り「これも
ウォーキングと思えば・・・」と寒さの中楽しさに替えて、皆さんとのコミュニケーシ
ョンを深めました。

3、会員減少時・・・

- ★ 新規立ち上げ委員を決め、3クラスを見学後入会。但し技能の伴うPCは難しい。
- ★ 現事務所になって「初級入門講座」終了者で、この会を理解された方に入会して頂く。
これにより現在増員している。

4、パソコン3クラスの現況

- ★ 韃 15 年 5 月より PC 3 クラス合同の 3 グループ連絡会を毎月第 1 土曜日に実施。
- ★ PC 火 → 11 人（男 1 人 女 10 人）最高齢 80 歳 平均 70 歳 指導者あり
- ★ PC 木 → 16 人（男 5 人 女 11 人）最高齢 80 歳 平均 67 歳 相談者あり
- ★ PC 土 → 9 人（男 3 人 女 6 人）最高齢 74 歳 相談者あり

5、機器の現況

- ★ パソコン
NPO より寄贈 デスクトップ型（5 台）97 型 ノート型（1 台）2000

会員より寄贈 デスク型1台
 会で購入 デスクトップ型1台 (XP)

★ プリンター ★ ラミネーター ★カッター

会員より寄贈 3台

会で購入 エプソン複合機

全ての機器類は「会」に帰属

6、ホームページ

平成15年に会のホームページを立ち上げる話が出、パソコン3グループから2名ずつ7名出、始める事になりました。

最初はホームページビルダーの何たるかもわからず、トップページのデザインを決める事からの出発でした。

5月の総会を前に立ち上げを目標として、先生のお力で形だけでも整った次第です。

外部の方にも来て頂き、月1回程度のホームページの内容・作成方法のアドバイスを受けながら、毎月更新。会員の要望対応を週1回程度の集まりで活動しています。

立ち上げから1年半、最近ようやく先生の手を借りる事も少なくなった？気がしてきましたが、ドンドン紹介される新しいソフト、技術に対応する為、今後も外部の指導が必要だと思います。 構成 男性1名 女性6名 平均年齢68歳位 (63歳～76歳)

7、パソコン講座

講座担当 各クラスより2名 (事務局 会計 サポーター担当)

年間計画 (内容 回数 ポスター作り) シニア情報アドバイザーに講師。

但し来年1月から会員が講師を務める。 青年館の利用 (区との連携)

8 結論

自主グループ立ち上げて、今回までを振り返ると・・・

- ① 立ち上げまでの間に話し合いの習慣が十分身についていた。
- ② この活動がパソコン教室とは異なり、痴呆予防であり、かつ脳機能検査により各人が効果を認識していた事。この考えが身に付いていれば「地域貢献」する意味がどれほどの意味を持つかが理解できて来るはずです。
- ③ 場所の確保、これが1番の問題点です。これにはせめて行政が公的施設の提供が出来なければ、1年でも痴呆が遅れれば、400万円～500万円の介護の費用が使われないで済む、といわれますくらいなので、このような「会」活動に対する助成金申請の道などに理解を示してほしい。
- ④ パソコン他機器の確保が大変、このようなグループに対する行政の理解。出来たら、リースの終わった中古パソコンを利用させてほしい。
- ⑤ 強力なリーダー (ボランティア精神に満ちた方) が必要。と同時に各会員皆で支えて行く意識。
- ⑥ 行政のバックアップ (ファシリテーター サポーター養成 紹介)
- ⑦ 継続していくには、新しい方々を入れて引き継いでいかなければならない。
その点の難しさ・・・